



《将来に向けた取組方針》

「地球上の命の源である水で活動をつなぐ」をスローガンに
 工場で使う水の保全に向け「山～川（工場）～海」のエリアで自然共生活動に取り組む。

長期目標：2050年に向け、生物多様性への影響の極少化を目指す

《具体的取組み事例》

山：豊かな森で豊かな水をつくる。

- ・里山づくり「樹守の里」
 (2019～)

川：地域の水生生物等を守る

- ・外来種の駆除(2016～)
- ・絶滅しそうな生物を育てる
- ・ビオトープづくり(2016～)
- ・工場の森づくり(2009～)

海：綺麗な海に生物が育む

- ・干潟での環境保全(2016～)



※成果等

工場の森づくり：国内外で28拠点、約30万本を植樹 等

《今後の課題等》

- ① 生物多様性への影響の極少化
 定量評価方法の確立
 (当面は緑の面積評価方法より確立)
- ② 山～川～海のエリアでの
 地域循環共生圏の構築
 - ・再生可能エネルギー
 - ・遊休農地等 の活用

《社会に向けたメッセージ》

みどりあふれる、豊かな地球を
 未来と子供たちに